

## 平成22年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年8月5日

上場会社名 株式会社ダイイチ 上場取引所 JQ  
 コード番号 7643 URL <http://www.daiichi-d.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小西 保男  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役企画IR兼経理担当 (氏名) 川瀬 豊秋 (TEL) 0155 (38) 3456  
 四半期報告書提出予定日 平成22年8月13日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無: 無  
 四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成22年9月期第3四半期の連結業績(平成21年10月1日～平成22年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年9月期第3四半期	21,692	4.2	520	21.8	473	19.7	336	57.6
21年9月期第3四半期	20,817	-	426	-	395	-	213	-

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
22年9月期第3四半期	84	24	-	-
21年9月期第3四半期	53	46	-	-

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円	銭	
22年9月期第3四半期	13,984	4,815	4,815	4,544	34.4	1,204	58	
21年9月期	13,025	4,544	4,544	4,544	34.9	1,136	77	

(参考) 自己資本 22年9月期第3四半期 4,815百万円 21年9月期 4,544百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金							
	第1四半期末		第2四半期末		第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭
21年9月期	-	-	0	00	-	-	15	00
22年9月期	-	-	0	00	-	-	-	-
22年9月期(予想)	-	-	-	-	-	-	15	00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無: 無

### 3. 平成22年9月期の連結業績予想(平成21年10月1日～平成22年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	29,423	4.8	631	21.1	559	17.7	350	24.8	87	58

(注) 当四半期における業績予想の修正有無: 無

4. その他（詳細は、[添付資料] P. 3「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動：無

新規　　－　社　除外　　－　社

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用：有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更：無

② ①以外の変更：無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

22年9月期3Q	4,003,320株	21年9月期	4,003,320株
----------	------------	--------	------------

② 期末自己株式数

22年9月期3Q	5,677株	21年9月期	5,677株
----------	--------	--------	--------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

22年9月期3Q	3,997,643株	21年9月期3Q	3,997,643株
----------	------------	----------	------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、四半期決算短信[添付資料] P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## 添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. その他の情報 .....	3
(1) 重要な子会社の異動の概要 .....	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 .....	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 .....	3
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 .....	3
3. 連結財務諸表等 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(5) セグメント情報 .....	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間(平成21年10月1日～平成22年6月30日)におけるわが国経済は、エコポイント制度などの政策効果や中国をはじめとする新興国の経済成長に支えられ、大企業製造業を中心に緩やかな回復傾向にあったものの、民間需要を中心とする自立的回復には至らず、先行きはなお不透明な状況であります。

当社グループを取り巻くスーパーマーケット業界は、雇用・所得環境が改善しない中、年金などの将来不安が加わり、消費者の節約志向や自己防衛意識が強く、依然として厳しい経営環境で推移いたしました。

このような経営環境のもとで当社グループは、引き続き「これまで以上に、お客様が、毎日の食生活で、必要とされる、商品作り、品揃えを徹底すること」、「より買いやすい価格、量目に重点を置いた商品作りを徹底すること」、「生活良好、生活優選を中心とした戦略商品を積極的に活用すること」などの基本方針のもと、お客様の満足度向上に努めてまいりました。また、営業方針に基づいて、全部署のオペレーションの改善や仕入の見直しによるコストダウン、競合店対策の徹底による競争力の強化、社外セミナーの活用による人材育成に取り組んでまいりました。

店舗展開につきましては、平成22年6月18日に大型複合商業施設内の核店舗として「自衛隊前店」(帯広ブロック)を新規出店いたしました。なお、経営資源の効率化を図るため、小型店の「ハーモニー店」(帯広ブロック)を平成22年6月13日に閉店いたしました。

地域別の売上高につきましては、帯広ブロックは105億44百万円(前年同期比11.0%増)、旭川ブロックは76億46百万円(前年同期比2.5%減)、札幌ブロックは34億89百万円(前年同期比0.7%増)となりました。

売上総利益率につきましては、仕入の見直しによるコストダウンを行ったものの、競合各社間との低価格競争による販売単価の低下等により、前年同期比0.6%の減少となりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は216億92百万円(前年同期比4.2%増)、営業利益は5億20百万円(前年同期比21.8%増)、経常利益は4億73百万円(前年同期比19.7%増)四半期純利益は3億36百万円(前年同期比57.6%増)となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### ① 資産、負債および純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末と比べ、9億59百万円増加の139億84百万円となりました。流動資産においては、主に現金及び預金の増加2億96百万円および商品及び製品の増加60百万円等により、前連結会計年度末に比べ3億85百万円増加の21億24百万円となりました。固定資産においては、有形固定資産その他の増加4億48百万円等により、前連結会計年度末に比べ5億73百万円増加の118億60百万円となりました。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ6億88百万円増加の91億69百万円となりました。流動負債においては、主に買掛金の増加2億14百万円、1年内返済予定の長期借入金の増加78百万円およびその他の増加1億47百万円等に対し、未払法人税等の減少52百万円等により、前連結会計年度末に比べ3億85百万円増加の38億39百万円となりました。固定負債においては、長期借入金の増加2億53百万円およびその他の増加50百万円等により、前連結会計年度末に比べ3億2百万円増加の53億30百万円となりました。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ2億71百万円増加の48億15百万円となりました。これは主に、利益剰余金2億76百万円の増加によるものであります。この結果、自己資本率は34.4%となりました。

#### ② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、7億75百万円となりました。これは営業活動によるキャッシュ・フローが7億62百万円の収入、投資活動によるキャッシュ・フローが7億2百万円の支出、財務活動によるキャッシュ・フローが2億24百万円の収入となったことによるものであります。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年9月期の通期連結業績につきましては、平成21年11月10日に公表いたしました数値から修正は行っておりません。

## 2. その他の情報

### (1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

#### ① 簡便な会計処理

簡便な会計処理につきましては重要性が乏しいため記載は省略しております。

#### ② 特有の会計処理

該当事項はありません。

### (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

該当事項はありません。

### (4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

## 3. 連結財務諸表等

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	879,913	583,779
売掛金	134,452	97,204
商品及び製品	813,750	753,637
原材料及び貯蔵品	2,877	2,730
その他	295,432	303,398
貸倒引当金	△1,500	△1,500
流動資産合計	2,124,926	1,739,250
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	4,036,548	4,129,987
土地	5,721,392	5,701,392
その他(純額)	730,776	281,792
有形固定資産合計	10,488,717	10,113,171
無形固定資産		
その他	27,176	27,176
無形固定資産合計	27,176	27,176
投資その他の資産		
敷金及び保証金	697,157	654,041
その他	646,991	492,009
投資その他の資産合計	1,344,149	1,146,051
固定資産合計	11,860,044	11,286,400
資産合計	13,984,970	13,025,651
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,792,930	1,578,835
短期借入金	215,000	230,000
1年内返済予定の長期借入金	799,088	721,044
未払法人税等	54,327	106,827
賞与引当金	171,188	157,368
その他	806,684	659,462
流動負債合計	3,839,218	3,453,538
固定負債		
長期借入金	4,132,932	3,879,584

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年9月30日)
退職給付引当金	452,753	458,852
役員退職慰労引当金	149,400	144,632
その他	595,191	544,625
固定負債合計	5,330,276	5,027,694
負債合計	9,169,495	8,481,232
純資産の部		
株主資本		
資本金	840,455	840,455
資本剰余金	767,302	767,302
利益剰余金	3,210,546	2,933,760
自己株式	△2,648	△2,648
株主資本合計	4,815,655	4,538,869
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△180	5,549
評価・換算差額等合計	△180	5,549
純資産合計	4,815,474	4,544,418
負債純資産合計	13,984,970	13,025,651

(2) 四半期連結損益計算書  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年10月1日 至平成21年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年10月1日 至平成22年6月30日)
売上高	20,817,215	21,692,184
売上原価	15,963,956	16,763,357
売上総利益	4,853,258	4,928,827
営業収入	225,661	322,330
営業総利益	5,078,920	5,251,157
販売費及び一般管理費	4,651,949	4,730,972
営業利益	426,970	520,184
営業外収益		
受取利息	6,678	6,024
受取配当金	3,599	5,522
その他	5,627	6,147
営業外収益合計	15,905	17,694
営業外費用		
支払利息	46,045	62,798
その他	874	1,245
営業外費用合計	46,920	64,043
経常利益	395,955	473,835
特別利益		
受取補償金	—	26,773
特別利益合計	—	26,773
特別損失		
固定資産除却損	18,283	—
その他	979	—
特別損失合計	19,262	—
税金等調整前四半期純利益	376,692	500,608
法人税、住民税及び事業税	155,021	150,593
法人税等調整額	7,945	13,264
法人税等合計	162,966	163,857
四半期純利益	213,726	336,751



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年10月1日 至平成21年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年10月1日 至平成22年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	376,692	500,608
減価償却費	208,962	249,261
賞与引当金の増減額(△は減少)	20,506	13,820
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△8,465	△6,099
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	14,022	4,768
のれん償却額	11,555	—
受取利息及び受取配当金	△10,277	△11,546
支払利息	46,045	62,798
固定資産除却損	16,003	—
投資有価証券売却損益(△は益)	979	—
売上債権の増減額(△は増加)	△5,188	△37,248
たな卸資産の増減額(△は増加)	△78,901	△60,260
その他の資産の増減額(△は増加)	20,699	34,867
仕入債務の増減額(△は減少)	15,097	214,094
未払消費税等の増減額(△は減少)	66,328	△48,473
その他の負債の増減額(△は減少)	△135,228	98,811
小計	558,832	1,015,404
利息及び配当金の受取額	4,230	5,753
利息の支払額	△46,469	△63,250
法人税等の支払額	△185,534	△194,919
営業活動によるキャッシュ・フロー	331,059	762,988
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△20,314	△37,014
定期預金の払戻による収入	—	26,000
有形固定資産の取得による支出	△461,252	△454,758
投資有価証券の取得による支出	△899	△7,939
投資有価証券の売却による収入	1,073	—
出資金の回収による収入	—	450
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△28,199	—
建設協力金の支払による支出	—	△225,794
建設協力金の回収による収入	24,246	24,246
敷金及び保証金の差入による支出	△31,662	△30,634
敷金及び保証金の回収による収入	35,752	2,633
投資活動によるキャッシュ・フロー	△481,256	△702,809
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	600,000	883,000
長期借入金の返済による支出	△435,721	△551,608
短期借入金の純増減額(△は減少)	275,000	△15,000
リース債務の返済による支出	△3,812	△31,142
配当金の支払額	△67,721	△60,308
財務活動によるキャッシュ・フロー	367,744	224,940
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	217,548	285,119
現金及び現金同等物の期首残高	374,380	490,503
現金及び現金同等物の四半期末残高	591,928	775,623

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間(自平成20年10月1日 至平成21年6月30日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成21年10月1日 至平成22年6月30日)

小売事業の売上高及び営業利益の金額は、全セグメントの売上高の合計及び営業利益の金額の合計額に占める割合がいずれも90%超であるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

〔所在地別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間(自平成20年10月1日 至平成21年6月30日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成21年10月1日 至平成22年6月30日)

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

〔海外売上高〕

前第3四半期連結累計期間(自平成20年10月1日 至平成21年6月30日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成21年10月1日 至平成22年6月30日)

海外売上高がないため、該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。